

一般質問

町政を問う

岩崎 正春議員



Q 防災対策・防災計画について

A 防災計画の見直し作業に入ったところ

議員 今の防災計画はいつ頃策定されたか。

総務課長 地域防災計画と震災対策計画は、平成10年11月に策定されたが、見直し作業に入ったところ。

議員 学校での対策・避難の基準は。

教育長 各小中学校では避難訓練等毎年3回実施しています。災害時の対応は平成21年2月に群馬県教育委員会が作成した学校災害マニュアルも活用し安全確保に努めている。

議員 避難場所に学校が指定されている現状で、家に帰さない方が安全な場合もあるので再検討

する必要がある。次に、ひとり暮らしや高齢者世帯への対応は。

総務課長 区長会や防災委員を通じて、有事の際はひとり暮らしや高齢者の方と一緒に避難できるように体制づくり、停電時等も防災計画のなかで検討したい。

議員 過疎、高齢者地域への対策と集落支援員について。

企画課長 集落支援委員が調査を行っており、道路の清掃や水源地管理が大変になってきているなど結果が上がってきている。

議員 放射線測定の実状は。
総務課長 保育園、学校、校庭、農地、畜産物、農産物等は群馬県が測定、学校校庭は町も簡易測定している。

Q 認定において下仁田ジオパークの評価点は

A 厳し目の評価票だが今後

議員 認定後の取り組みについて。

町長 関係機関のご協力により群馬県初の認定で、これを契機に地質や地層、あらゆる今まで町

の産業を含めて、観光的な誘客を図って、町の活性化に努めた

議員 町民との協力体制が大事だが対策は。

推進室長 申請時や審査時でもアピールした1番は自然学校の教育活動、2番目ジオパークサイトの確かな説明、3番目は地球活動の集約地、4番目は地域商品開発など地域の協力体制があることです。今は関連商品の開発、歴史、食、特にジオパークの恵みとして地域の活性化、来町者の増加につなげていきたい。

議員 スピード感を持って整備や対応が必要だ。

佐藤 博議員



Q 小学校統合後の跡地活用の対策について

A 具体的な検討はしていない

議員 跡地活用対策の検討は。

教育課長 教育部局では具体的な検討には入っていません。

議員 町長部局ではどうか。
企画財政課長 検討に入っておりません。

議員 統合を決定して3年が経過、なぜ検討しないのか。

町長 議会、全協、区長会等でアイデアはないか申し上げて3年になる。

議員 平成20年7月の教育委員会からの要望書はご存知か。

町長 何を指しての話か分かりかねます。

議員 教育長にお尋ねします。
教育長 教育委員会構想を実現するための具体的要望の4点目に学校跡地の有効活用について、町民、識見者、町長部局、教育委員会部局など広範な方々による(仮称)学校跡地検討委員会

で検討協議願いたいとあります。
議員 半年後には統合です、職務怠慢と言わざるを得ない。
町長 地域間で提言があれば議員筆頭に区長会で方向性を投げかけていただきたい。

議員 私が申し上げているのは正式な協議会です、協議会の設置の考えはないのか。

町長 地域の状況が違う、それぞれの問題がある。

議員 かぶら保育園の活用は。

福祉課長 ございませぬ。
議員 下仁田幼稚園跡地は。

議員 ジオパーク推進室長 教育委員会部局の倉庫として活用中。
議員 下仁田保育園と下仁田幼稚園の地代に係る経費は。

福祉課長 借地料は年間に117万円、町で支出している。

議員 早期に有効な活用は住民の願い、活性化に繋がる。

町長 私の考えはあります、議員の方々の先ずはご意見を拝聴したい。

議員 企業誘致の考えは。

町長 提案があれば検討する。
議員 各地区に支部組織、地域の意見を聴いて、理解の上での活用の決定が順序と思う、対策協議会の早期設置を。

町長 3年前から言っておりま

議員 地域の方も考えがある。正式な機関としての設置を。

町長 地域から、先ずは声を挙げて頂きたい、タイムリミットも迫っております。

議員 無責任な発言と思う。地域と地域にあずけようとするならば決まらない。早急に対策協議会の設置を。

町長 再三、同じ回答です。
議員 設置の考えは無い、という解釈で質問を終わります。